

● 問い合わせ先  
財政課（合志庁舎）  
☎（248）1667

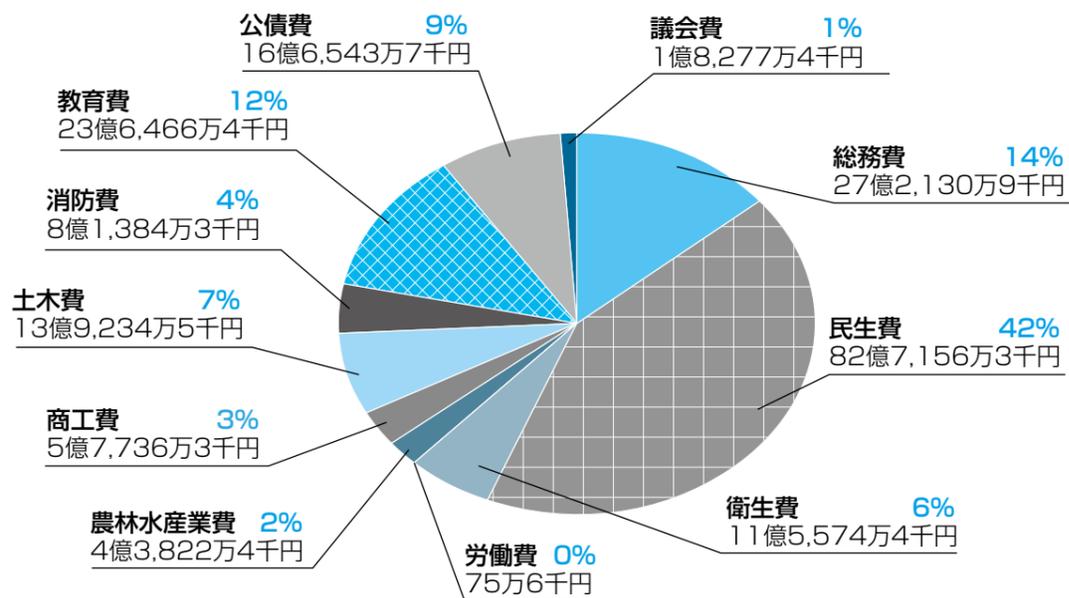
市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ市の財政が運営されているのか、市の財政状況について平成26年度決算の概要を地方財政状況調査表（決算統計）に基づきお知らせします。  
決算統計は総務省の基準により決算を分析したもので、後期高齢者医療広域連合にかかる経費を除いています。  
市では、毎年6月と12月に予算や収入・支出の状況などを公表しています。詳しくは、市役所の情報公開コーナーやホームページに掲載していますのでご覧ください。

市の貯金と借金（平成26年度末）

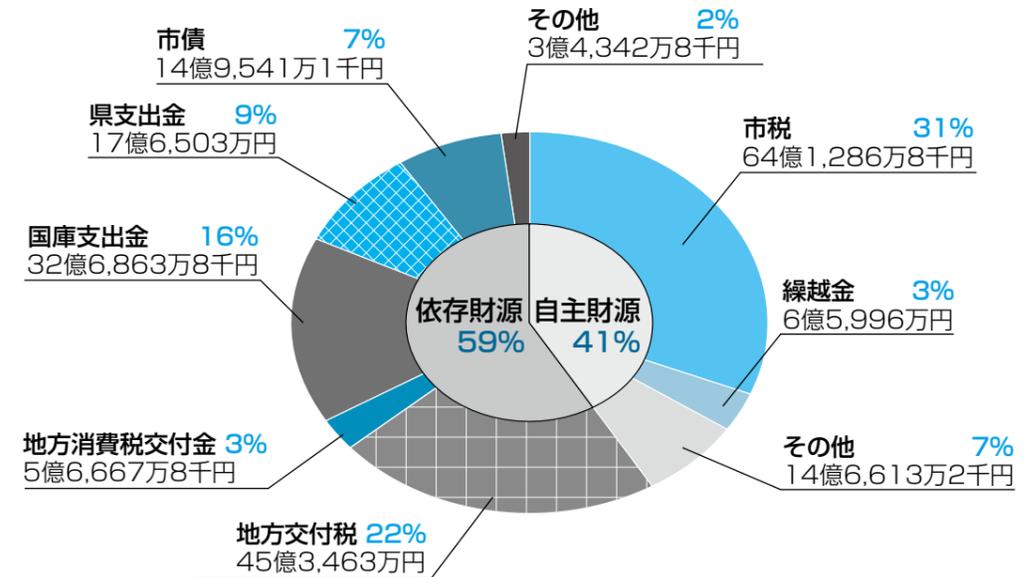
（貯金）財政調整基金	37億4,327万6千円		
減債基金	5億3,808万6千円		
特定目的基金	26億7,202万8千円		
合計	69億5,339万円	市民一人当たり	117,720円
（借金）地方債	164億611万9千円	市民一人当たり	277,754円

※人口は平成27年3月末の人口（59,067人）で算出しています。

一般会計の歳出の状況 **195億8,402万2千円**



一般会計の歳入の状況 **205億1,277万5千円**



**収入の状況**  
一般会計の歳入は205億1,277万5千円で、平成25年度に比べて11億2,367万6千円（5.8%）増えています。主な要因は、国庫支出金や繰越金、繰越金が減り、市税や地方交付税、財産収入が増えたことによるものです。  
市民の皆さんに収めてもらう市税（市民税や固定資産税、軽自動車税など）は、平成26年度決算で歳入の約31%を占めています。平成25年度に比べ、金額で8億3,114万5千円増えましたが、歳入総額に占める割合はほぼ横ばいとなっています。

**支出の状況**  
一般会計の歳出は195億8,402万2千円で、平成25年度に比べて12億4,488万3千円（6.8%）増えています。市民一人当たり、33万2千円が使われたことになりました。  
歳出を目的別に見ると民生費が約42%、教育費が約12%、総務費が約14%、公債費が約9%となっています。  
性質別には、扶助費が約28%、人件費が約15%、普通建設事業費が約12%、繰越金が約11%となっています。

**一般会計の決算状況・実質収支**  
実質収支額は7億6,128万4千円で、昨年度に比べて471万8千円の減となりました。  
実質収支額のうち、4億円は財政調整基金に積み立て、残りの3億6,128万4千円は平成27年度予算へ繰り越しとなります。

歳入総額 205億1,277万5千円	歳出総額 195億8,402万2千円	差引額 9億2,875万3千円
上記の差引額 9億2,875万3千円	翌年度へ繰り越すべき財源※ 1億6,746万9千円	実質収支額 7億6,128万4千円

※平成26年度に事業が完了せず、翌年度に繰り越して使用することができる財源

各会計の状況（実質収支額）

	平成26年度		実質収支額
	歳入決算額	歳出決算額	
国民健康保険特別会計	65億9,567万6,133円	63億2,073万5,144円	2億7,494万5,619円
後期高齢者医療特別会計	4億9,640万8,406円	4億9,387万2,648円	253万5,758円
介護保険特別会計	38億5,662万6,938円	37億4,959万2,033円	1億703万4,905円
下水道特別会計	14億2,513万1,367円	13億1,669万8,533円	1億843万2,834円
農業集落排水特別会計	8,513万7,849円	8,047万7,248円	466万601円